

豊後大野警察署協議会

第 1 回会議の開催状況

第 1 開催月日

令和 4 年 7 月 19 日 (火)

第 2 出席者

協議会 委員 4 名
警察署 署長、副署長、総務会計課長、生活安全刑事課長、地域交通課長、
警備課長 6 名

第 3 議事の概要

1 業務説明等

警察署から

- ・業務重点推進状況等

について説明がなされた。

2 警察署協議会への諮問事項について

警察署から諮問事項である「高齢者の被害等防止対策」について説明がなされた。

3 主な意見等

(1) 水難事故防止に向けた取組について

委員から「豊後大野市は、観光やアウトドアブームで、川遊びや川下りをする人が段々増えてきている。泳げない人も川に入ったりしているが、水位に関する知識が不足していると感じる。今、水位に関する一定の基準がなく、この水位になったら危ないという基準について、セミナーを開催したり、警察や消防、観光業者等で話し合う必要があるのではないかと思う」旨の意見がなされ、警察署から「管理者対策として、例年、施設管理者に対して水難事故の呼びかけはしている。今後、こういった時には川に入らないようにという一定基準についても、関係機関と連携して検討していきたい」旨の説明がなされた。

(2) 車上狙いの被害について

委員から「車上狙いの被害場所はどこか。車に鍵はかけていなかったのか」旨の質問がなされ、警察署から「被害は、夜間で自宅が多く、車に鍵をかけていなかったために被害にあっている。車をとめる本人は勿論、全ての住民に車をとめる場合には鍵をかけるように周知していきたい」旨の説明がなされた。

(3) 後期高齢化社会について

委員から「豊後大野市は 65 歳以上の方の運転免許保有率が 40% という話があったが、確かに 10 年後には半分の方が後期高齢者になる。高齢者の 1 人暮らしも多くなり、高齢者を狙った犯罪も増えてくると思う。今後は警察だけでなく、みんなで高齢者を守るというムード作りが大切で、官民一体となって取り組むべきだと思う。今後も協力できることがあればやっていきたい」旨の意見がなされ、警察署から「官民が協力し、しっかりした対策を講じていきたい」旨の意見がなされた。

(4) 特殊詐欺の被害について

委員から「なぜ、特殊詐欺の被害にあうのか。特殊詐欺のことを知らない人なのか」旨の質問がなされ、警察署から「被害にあわれた方に話を聞くと、みなさん特殊詐欺のことも、被害防止の広報をしていることも知っている。しか

し、実際に犯人と電話で会話するうちに自然と信じてしまう傾向にあるようだ。その上で、仮に信じたとしても『お金を振り込まない』とか、いかに被害を防げるのかを考えて、今後、特殊詐欺の被害抑止に向けた広報をしていきたい」旨の説明がなされた。更に、委員から「私方は留守番電話にして抑止対策をしている。どんな手口が流行っているのか、今後も広く多くの方に知らせていただきたい」旨の意見がなされ、警察署から「当署では特殊詐欺の被害を防ぐため、劇団による広報活動も行っている。引き続き、高齢者にわかりやすく丁寧な内容で広報していきたい」旨の説明がなされた。

(5) 駐在所員の立ち寄り警戒について

委員から「私方は原尻の滝の近くに店があり、殆ど毎日のようにパトカーが警戒のため立ち寄ってくれる。駐在所員と思うが、心強くありがたく思う」旨の意見がなされた。